

EU Indicators

欧州経済指標コメント：2月英国消費者物価

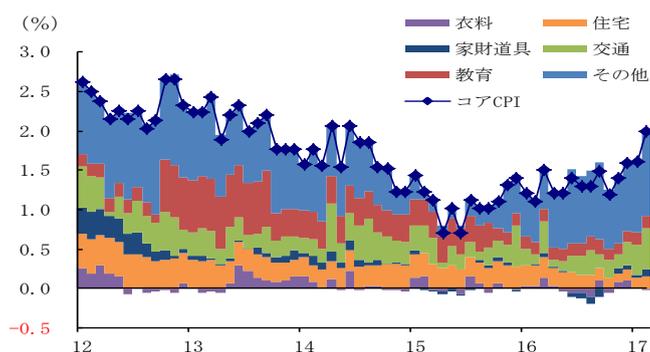
発表日：2017年3月22日(水)

～BOEの次の一手は？～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

- 21日に発表された2月の英国の消費者物価は前年比+2.3%と前月(同+1.8%)から上昇率が大幅に加速し、BOEの政策目標である2%を2013年12月振りに上回った。統計局が新たに消費者物価の主要参照値に採用するCPIH(帰属家賃を含むCPI)も前月：同+1.9%→今月：同+2.3%に加速。
- 従来型の消費者物価の内訳は、原油高やポンド安の影響からエネルギー(同+7.6%→同+8.9%)の上昇率が一段と加速、寒波による野菜価格高騰の影響が続く食料品(同▲0.5%→同+0.1%)が2014年4月以来のプラス圏に浮上したほか、コア物価(同+1.6%→同+2.0%)が2014年6月以来の2%台に乗せた。コア物価の上昇加速を牽引したのは、家財道具(同+0.4%→同+1.2%)、医薬品(同+1.0%→同+1.6%)、自動車(同▲0.4%→同+0.9%)、オーディオ機器(同▲1.8%→同+0.7%)、書籍・文具(同+3.3%→同+4.6%)、宝飾(同▲0.5%→同+1.0%)など、広範な費目。ポンド安による物価上昇圧力がエネルギー以外の財価格に徐々に波及してきた可能性がある。
- 3月16日のMPCでは6月に退任予定のフォース委員が0.25%の利上げを主張したほか、何人かの政策メンバーが「経済活動やインフレ率が多少なりとも上振れすれば、緩和策の早期終了が正当化される」との見解を示すなど、タカ派色が徐々に強まってきている。5月の物価レポートまでに物価の一段の上振れが続くようだと、利上げを求める声がさらに増えてくることが予想される。

■英国：コア消費者物価の要因分解(前年比)



出所：英統計局

■英国：生産者物価の推移(前年比)



出所：英統計局

■英国の消費者物価(%)

		2016				2017								
		1Q	2Q	3Q	4Q	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
消費者物価	(前期比)	-0.5	0.6	0.5	0.6	0.2	0.0	0.3	0.2	0.1	0.2	0.5	-0.5	0.7
	(前年比)	0.3	0.3	0.7	1.2	0.5	0.6	0.6	1.0	0.9	1.2	1.6	1.8	2.3
コア消費者物価	(前年比)	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.5	1.2	1.4	1.6	1.6	2.0
食料品	(前年比)	-2.5	-2.8	-2.3	-1.8	-3.0	-2.6	-2.2	-2.2	-2.3	-2.0	-1.1	-0.5	0.1
アルコール	(前年比)	-3.3	-4.3	-3.5	-1.6	-5.3	-2.3	-4.4	-3.9	-2.0	-2.1	-0.6	-0.7	-0.2
たばこ	(前年比)	4.3	4.8	5.5	4.7	4.8	4.9	5.8	5.9	5.1	4.5	4.6	4.7	5.1
エネルギー	(前年比)	-5.7	-4.8	-2.1	3.0	-4.0	-3.4	-2.6	-0.1	1.7	3.0	4.3	7.6	8.9
住宅用燃料	(前年比)	-3.8	-3.8	-2.8	-1.4	-3.4	-3.3	-3.1	-2.0	-1.5	-1.5	-1.1	-0.8	-0.4
自動車燃料	(前年比)	-8.0	-6.6	-1.9	7.4	-5.4	-4.2	-2.7	1.4	4.7	7.5	10.0	16.9	19.4

注：消費者物価の前期比は季節調整前。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。